

# 週刊 市議会報告

## 2013年5月号 号外



<発行>  
日本共産党浦安市議団  
市役所内控え室  
(議会棟1階) Tel.(350)1243

日本共産党

### 子育ても老後も安心 住みつづけたい浦安を



元木美奈子  
市議会議員

入船 4-37-14  
☎355-8526  
minamotonton@  
jcom.home.ne.jp



市議会議員  
みせ麻里

北栄 2-3-16-203  
☎354-9269  
m5mise@jcom.  
home.ne.jp

## 市の土地を(株)ダイエーへ貸付

日本共産党

# 計画の白紙撤回を



市はこれまで、当該用地に様々な土地活用の要望が上がっても「都市再開発用地として確保したものだ」として頑なに受け入れてきませんでした。

昨年市長の「3月に㈱ダイエーより提案があり、7月中に覚書の締結を考えている」という内容の行政報告に、「なぜこんな短期間に急いで決めるの?」「なぜダイエーなの?」という、疑問やご意見を日本共産党へも多数寄せられています。

今回、㈱ダイエーの提案を承諾した理由として、「これまでは具体的な提案ではなかった、㈱ダイエーから具体的な提案が示された内容が、市のまちづくりが大きく寄与すると考

る」などと説明をしていますが、公募をかけていたわけではありませ

## 検討経緯が不透明

浦安駅から約350mやなぎ通り沿いの元デニス・インターランドバスターミナルについて、昨年6月4日の議会開会日に、突然、松崎市長より北栄三丁目市有地を㈱ダイエーへ貸付の話し合いを進めているとの行政報告があり、今年1月8日には、土地賃貸借予約契約書が締結されています。

5月末に本契約を結び、引き渡しは6月1日の予定です。



東西線、浦安駅から徒歩4分の市の1600坪の土地の活用について、広報や市のホームページなどで市民から意見を求めたことありません。

## ホールのない猫実保育園改善されるのか?

㈱ダイエーの建物3階には、認可保育園が併設されます。市は「猫実保育園の建て替え問題にも寄与することができるとしていますが、実際は建て替えではなく大規模修繕工事です。懸案となっているホールが整備されるかどうかは不確定の状態です(本年3月時点)。

## 既存の商店会の活性化に担う?

㈱ダイエーの出店は高齢者への買い物支援対策、駅前周辺の活性化、近隣住民の利便性の向上、雇用の拡大があげられています。

しかし、2010年3月に作成された「浦安市産業振興ビジョンの改定版」によると、地元商店街の利用頻度について、「ほとんど毎日」03年23.8%から06年17.9%に減、「ほとんどいかならない」03年31.7%から06年45.5%に増えます。

地元商店は経営困難な中、踏みとどまっている状況ですが、市民経済部長は「既にある大型店と地元商店とは、相互の特徴を生かしながら共存をしておる」と実態と乖離した認識であることが議会答弁で明らかになっています。

## 大型小売店舗面積は今でも県内トップクラス

市の大型小売店舗数は25店、店舗面積は16万5005㎡、人口千人あたりの店舗面積は1007㎡、近隣4市(習志野・船橋・市川・松戸)のなかで、習志野市(1413㎡)に次ぐ水準となっています。

## 貴重な再開発用地 地元商店の育成こそ

日本共産党は高齢化社会、居宅介護、自立支援など、今後の浦安市を考えると、買い物難民を生み出さないために、自宅近くの商店を守る政策が今後ますます求められると考えています。

地元住民、商店街などから合意が得られていないことや、再開発や放置自転車対策のためとして取得した用地を、㈱ダイエーにトップダウンで貸付けることについて白紙撤回を求める立場です。

## 実際の契約期間は? 賃料・敷金の合理性は?

契約期間は20年と広報されていますが、実際は、13年6月1日の引き渡し予定日から14年3月スーパーマーケット開業月と、契約満了後の建物解体撤去期間は含まれていません。

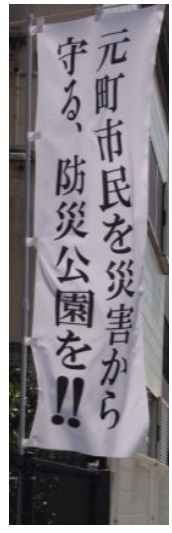
市有地5288.9㎡の賃料については、開店日から起算され月額420万円、それまでは月額120万円です。敷金は2520万円、建物の建築着工日から7日以内に預託としていきます。

一方、猫実保育園は面積1986.79㎡としての賃料月額388万円、敷金は賃料の6か月2328万円、契約期間は引き渡し日から15年2月、大規模修繕工事期間(14年4月から15年1月までを予定)

## 「予約契約書」第7条にもとづく契約解除を

地元商店から㈱ダイエー出店に対する反対の声、白紙撤回を求める声を受け、浦安市議会は「配慮を求める意見書」を市長に上げています。

「土地賃貸借予約契約書」第7条(現実開店日前の解除)には、近隣住民、関係権利者の同意が得られない時は、契約を解除することができるとしています。



元町は公園面積が、中町新町と比べても大変少なく、狭隘化した街並みから、震災後は市川市の大洲防災公園や、広尾防災公園のような防災公園の整備を望む声が高まりました。

「元町市民を災害から守る、防災公園を!」ののぼり旗が市内に立ち、印刷物が配布されています。

住民合意が得られないまま進める市政に「待った」がかけられ、契約解除が求められています。

希望ある日本へ  
全力でがんばります



寺尾さとし

1976年静岡市生まれ、36歳  
東京情報大学経営情報学部卒  
前日本民主青年同盟千葉県委員長  
現在、党・千葉県雇用拡大委員長  
妻と千葉市美浜区幸町在住  
趣味、サッカー・野球・旅行

国民の目線で日本を変える  
いのち・くらしを守る政治を原点に



小池 晃

1960年東京世田谷区生まれ、52歳  
東北大学医学部卒  
日本共産党 副委員長  
党政策委員長 前参議院議員 医師



